

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅰ

教 科： 芸術 科 目： 美術Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 7 組～ 8 組

教科担当者：

使用教科書：（ 美術Ⅰ（光村図書） ）

教科 芸術 の目標：

【知 識 及 び 技 能】技術、構図構成、素材に対する知識

【思考力、判断力、表現力等】アイディア、コンセプト、プレゼン力、課題を読み解く力

【学びに向かう力、人間性等】出席、提出、計画性、努力する力

科目 美術Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・デッサンに関する技術力を身につける ・構図、構成力を身につける。 ・素材に対する知識を習得する。	・プレゼンする力を養う。 ・課題を読み解く力を養う。	・欠席しない。 ・提出期限を守る。 ・計画性をもつ。 ・努力する力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	立体表現の基礎練習（グラデーション課題） 【知識及び技能】 鉛筆表現の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う	・指導事項 立体表現に必要な、明暗表現に関すること、描画材に関する基礎を学ぶ。明暗の基礎事項を理解し、対象の形態感を捉えた表現を学ぶ。 ・教材 教科書、画用紙、鉛筆他	知技：鉛筆表現の特性を生かすとともに色や質感などの表現を工夫し創造的にあらわしている 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に対象物を見つめ表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	6
	立体表現の基礎練習（立方体課題） 【知識及び技能】 鉛筆表現の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う	・指導事項 立体表現に必要な、明暗表現に関すること、遠近法に関することや、描画材に関する基礎を学ぶ。明暗や遠近法の基礎事項を理解し、対象の形態感を捉えた表現を学ぶ。 ・教材 教科書、画用紙、鉛筆他	知技：鉛筆表現の特性を生かすとともに色や質感などの表現を工夫し創造的にあらわしている 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に対象物を見つめ表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	6
	立体表現の基礎練習（静物画課題） 【知識及び技能】 鉛筆表現の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う	・指導事項 立体表現に必要な、明暗表現に関すること、遠近法に関することや、描画材に関する基礎を学ぶ。明暗や遠近法の基礎事項を理解し、対象の形態感を捉えた表現を学ぶ。 ・教材 教科書、画用紙、鉛筆他	知技：鉛筆表現の特性を生かすとともに色や質感などの表現を工夫し創造的にあらわしている 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に対象物を見つめ表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○		15
2 学 期	石膏課題（ラポルト） 【知識及び技能】 鉛筆・木炭表現の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う	・指導事項 立体表現に必要な、明暗表現に関すること、遠近法に関することや、描画材に関する基礎を学ぶ。明暗や遠近法の基礎事項を理解し、対象の形態感を捉えた表現を学ぶ。 ・教材 教科書、画用紙、鉛筆・木炭他	知技：鉛筆表現の特性を生かすとともに色や質感などの表現を工夫し創造的にあらわしている 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に対象物を見つめ表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	14
	石膏課題（アグリッパ） 【知識及び技能】 鉛筆・木炭表現の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う	・指導事項 立体表現に必要な、明暗表現に関すること、遠近法に関することや、描画材に関する基礎を学ぶ。明暗や遠近法の基礎事項を理解し、対象の形態感を捉えた表現を学ぶ。 ・教材 教科書、画用紙、鉛筆・木炭他	知技：鉛筆表現の特性を生かすとともに色や質感などの表現を工夫し創造的にあらわしている 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に対象物を見つめ表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	14
3 学 期	静物画課題 【知識及び技能】 鉛筆・木炭表現の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う	・指導事項 立体表現に必要な、明暗表現に関すること、遠近法に関することや、描画材に関する基礎を学ぶ。明暗や遠近法の基礎事項を理解し、対象の形態感を捉えた表現を学ぶ。 ・教材 教科書、画用紙、鉛筆・木炭他	知技：鉛筆表現の特性を生かすとともに色や質感などの表現を工夫し創造的にあらわしている 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に対象物を見つめ表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	15
	合計						70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 構成

教 科： 芸術 科 目： 構成 単位数： 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 7 組 8 組

教科担当者：

使用教科書：（ 美術1（光村図書） デザインの色彩（日本色研事業株式会社） ）

教科 芸術 の目標：

【知 識 及 び 技 能】作品の歴史や文化を学び、画材や素材を適切に扱って制作を行う。

【思考力、判断力、表現力等】作品のテーマや課題意識をもとに、画材の特性を生かして表現活動を行う。

【学びに向かう力、人間性等】自分自身で企てた単元目標に向かって意欲的に制作し、自他の作品のよさを認め合う。

科目 構成		の目標：	
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
形や色、構図や素材など作品の要素が与える効果を理解し、適切な画材の扱いで制作を行う。作品の歴史や文化について学び、それを踏まえて制作に取り組む。		作品のテーマや課題意識をもとに、形や色、画材の性質を生かして効果的に表現することができる。実用性や装飾性といった、制作目的に沿った作品の特徴を表現する。	制作や鑑賞を通して自身の作品の課題を見つけ、意欲的に制作に取り組む。鑑賞を通して自他の作品のよさを認め合う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現・デザイン・映像・鑑賞			評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	〔平面〕 「平面構成」 【知識及び技能】 効果的な色や絵の具の使い方で制作を行う。 【思考力、判断力、表現力等】 自分のテーマに沿って表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題に対して真摯に取り組み、互いの作品のよさを認め合う。	・色のコントラスト ・同一調和と類似調和 ・水張り ・アクリル絵の具の使い方 ・講評会	○		○	・色相の効果的な構成方法を知り、絵の具の適切な水分量や塗り方で制作することができる。 ・色のコントラストや色相を効果的に使って表現することができる。 ・制作や鑑賞を通して互いの作品のよさを認め合うことができる。	○	○	○	16
	「ビクトグラム」 【知識及び技能】 効果的な色や形、線の使い方で制作を行う。 【思考力、判断力、表現力等】 自分のテーマに沿って表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題に対して真摯に取り組み、互いの作品のよさを認め合う。	・色の効果 ・ビクトグラムにおける形と色の決まり ・アクリル絵の具の使い方 ・講評会	○		○	・ビクトグラムの役割や、形・色の役割を理解し、活用することができる。 ・自身のテーマに合う形や色を考え、第三者に伝わるような作品を作ることができる。 ・制作や鑑賞を通して互いの作品のよさを認め合うことができる。	○	○	○	10
2 学期	「明度立体」 【知識及び技能】 アクリル絵の具の特性や、色の明度について理解し、制作を行う。 【思考力、判断力、表現力等】 効果的に表現するための色を使い表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題に対して真摯に取り組み、互いの作品のよさを認め合う。	・アクリル絵の具の使い方 ・色の明度 ・講評会	○		○	・色相の効果的な構成方法を知り、絵の具の適切な水分量や塗り方で制作することができる。 ・色のコントラストや色相を効果的に使って表現することができる。 ・制作や鑑賞を通して互いの作品のよさを認め合うことができる。	○	○	○	10
	〔立体〕 「陶芸」 【知識及び技能】 焼き物や陶芸文化について学習し、技法や扱い方を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 実用品としての機能性と装飾性について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 陶芸や装飾文化に興味を持ち、意欲的に技能を身に付けていく。	・陶芸の基本技能を身に付ける ・美術1（光村図書） ・1人1台端末の活用	○	○	○	・形や装飾文様を独創的で豊かに発想し、土の性質を生かして構想を広げることができる。 ・構想に基づいて材料の性質や技法を生かし、土の可塑性を生かして造ることができる。 ・陶芸作品の制作や鑑賞を通して、よさや美しさに関心を持ち、構想をもとに生き生きと表現することができる。 ・自他の作品の魅力を感じ取り、伝え合うことができる。 ・自分自身で企てた単元目標に向かって意欲的に制作し、振り返ることができる。	○	○	○	18
3 学期	「紙の立体造形」 【知識及び技能】 紙の特性や良さについて学習し、構想に基づいた創造的な立体表現をするために必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 紙の特性や造形表現の可能性について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 紙の特性や造形表現に興味を持ち、	・紙を用いて立体構成を制作し、形を表現する力を養う。 ・美術1（光村図書） ・1人1台端末の活用	○		○	・紙や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫したり、制作の順序などを考えながら、見通しを持って表すことができる。 ・紙の特性に親しみながら構想をもとに生き生きと表現することができる。 ・創造活動の喜びを味わい、紙の特性や良さをもとに構想を練り、意図に応じて工夫し、見通しを持って表現の学習活動に取り組もうとすることができる。	○	○	○	16
										合計 70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 絵画

教科：芸術 科目：絵画 単位数：2 単位
対象学年組：第1学年 7組 8組
教科担当者：
使用教科書：（美術1（光村図書））
教科 芸術

の目標：
【知識及び技能】 作品の歴史や文化を学び、画材や素材を適切に扱って制作を行う。
【思考力、判断力、表現力等】 作品のテーマや課題意識をもとに、画材の特性を生かして表現活動を行う。
【学びに向かう力、人間性等】 自分自身で企てた単元目標に向かって意欲的に制作し、自他の作品のよさを認め合う。

科目 絵画		の目標：	
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
形や色、構図や素材など作品の要素が与える効果を理解し、適切な画材の扱いで制作を行う。様々な画材や材料の特性、その歴史を知り、適切な使い方で作品を作る。		自身の作品テーマを表現するために、画材や材料の性質を効果的に活用して制作する。様々な視点からアイデアを出し、適切なこたえを導き出す。	制作や鑑賞を通して自身の作品の課題を見つけ、意欲的に制作に取り組む。鑑賞を通して自他の作品のよさを認め合う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現・デザイン・映像・鑑賞			評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	〔平面〕 「透明水彩に触れる」 【知識及び技能】 水分量や重色など、水彩の特性を理解して使用する。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフを描くために適切な色や混色方法を実践する。	・果物のクロッキー ・水彩絵の具の特性 ・混色方法 ・水張り	○		○	・水分量や重色など、水彩の特性を理解して使用することができる。 ・モチーフを描くために適切な色や混色方法を実践することができる。 ・制作に真摯に取り組み、互いの作品の良さを認め合うことができる。		○	○	16
	「油彩でモチーフを描く」 【知識及び技能】 マチエールづくりなど、油彩の特性を理解して使用する。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフを描くために適切な色彩・	・りんごのクロッキー ・油絵の具の特性 ・マチエールづくり	○		○	・マチエールづくりなど、油彩の特性を理解して使用することができる。 ・モチーフを描くために適切な色彩・質感表現を実践することができる。 ・制作に真摯に取り組み、互いの作品の良さを認め合うことができる。		○	○	16

[illegible]

高等学校 令和6年度（2学年用）教科 芸術 科目 絵画

科目： 絵画

單位數： 4 單位

対象学年組：第 2 学年 7 組～ 8 組

教科担当者：

使用教科書：（美術2（光村図書））

教科 芸術

の目標：

【知 識 及 ひ 技 能】作品の歴史や文化を学び、画材や素材を適切に扱って制作を行う。

【思考力、判断力、表現力等】作品のテーマや課題意識をもとに、画材の特性を生かして表現活動を行う。

【字ひに同かう力、人間性等】自分自身で正した單元目標に向かつて意欲的に制作し、自他の作品のよさを認め合う。

科目 転画

の目標：

【形や色及び文化】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
形や色、構図や素材など作品の要素が与える効果を理解し、適切な画材の扱いで制作を行う。作品の歴史や文化について学び、それを踏まえて制作に取り組む。	作品のテーマや課題意識のもとに、形や色、画材の性質を生かして効果的に表現することができる。 実用性や装飾性といった、制作目的に沿った作品の特徴を表現する。	制作や鑑賞を通して自身の作品の課題を見つけ、意欲的に制作に取り組む。 鑑賞を通して自他の作品のよさを認め合う。

高等学校 令和6年度（2学年用）教科 芸術 科目 彫刻

教 科： 芸術

科目： 彫刻

单位数： 4 单位

対象学年組：第 2 学年 7 組～ 8 組

教科担当者：
使用教科書：（ 高校生の美術 2（日文） ）
教科 芸術 の目標：
【知識及び技能】技術、構図構成、素材に対する知識
【思考力、判断力、表現力等】アイデア、コンセプト、プレゼン力、課題を読み解く力
【学びに向かう力、人間性等】出席、提出、計画性、努力する力
科目 彫刻 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・粘土、石膏、木材、金属など、様々な素材での制作を体験することで、それぞれの素材が生み出す表情の違いや特徴を理解する。 ・表現に適した素材を意図的に使い分ける力を養う。	・点のつながりが線を作り、線の集積が面を作り、面のつながりが立体を作る。 この基本的要素を理解し、様々な素材と道具が扱えるようにする。 ・彫刻制作を通して、創造する楽しさ、芸術を	・遅刻・欠席しない。 ・提出期限を守る。 ・計画性をもつ。 ・努力する力を養う。 ・他者の考えを受け入れ、自分の考えを伝える

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現力・技能					評価規準	知	思	態	時配数当
			表現	技能	表現	技能	表現					
1学期	A 単元 ①彫塑・レリーフ 【知識及び技能】 彫刻の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う	・指導事項 ・限られた厚みの中で立体表現をするレリーフ(浮彫り)を理解する。 ・好きな詩や物語の一場面をレリーフで表現する。 ・教材 教科書、粘土	○			○		知技：彫刻の特性を生かすとともに質感などの表現を工夫し創造的にあらわしている 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に対象物を見つめ表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	30
	A 単元 ②石膏取り ・彫塑用粘土で制作したレリーフ作品を石膏取りする。 【知識及び技能】 石膏取りの知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う	・指導事項 粘土で作ったレリーフを石膏取りし、作品の完成をする。石膏の性質を理解する。 ・教材 教科書、石膏	○			○		知技：石膏の特性を生かすとともに固まる性質や扱い方を理解する。 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に対象物を見つめ表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	10
2学期	A 単元 ①木彫 【知識及び技能】 木材の性質の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う	・指導事項 木彫の制作工程を理解し、木の性質や計画的に掘り進める計画性や基礎事項を理解し、対象の形態感を捉えた表現を学ぶ。 ・教材 教科書、木材、ノミ、ノコギリ、彫刻刀	○			○		知技：木彫の特性を生かすとともに、立体表現を工夫し創造的にあらわしている 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に対象物を見つめ表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	40
	A 単元 ②金属鑄造 【知識及び技能】 彫金の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う	・指導事項 木彫の制作工程を理解し、木の性質や計画的に掘り進める計画性や基礎事項を理解し、対象の形態感を捉えた表現を学ぶ。 ・教材 教科書、画用紙、鉛筆・木炭他	○			○		知技：金属の特性を生かすとともに・低熔点金属（亜鉛合金）を使い、鑄造の流れを理解する。 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に対象物を見つめ表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	20
3学期	A 単元 彫塑・着色 「スーパーリアリズム」 【知識及び技能】 粘土の性質やリアルな表現を理解し、彫刻の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う	・指導事項 ・木の枝、石、貝殻など、自分でモチーフを持ち寄り、大きさ、形、色、質感、すべて同じになるように彫刻を作る。 ・色彩の効果を生かした表現を試みる。 ・教材	○			○		知技：粘土の特性を生かすとともに色や質感などの表現を工夫し創造的にあらわしている 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に対象物を見つめ表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	40
												合計 140

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度(2学年用)教科

芸術

科目 ヴィジュアルデザイン

教科：芸術 科目：ヴィジュアルデザイン 単位数：4 単位
対象学年組：第2学年 7組～8組
教科担当者：
使用教科書：（美術2（光村図書））
教科 芸術 の目標：
【知識及び技能】色彩についての理解を深める
【思考力、判断力、表現力等】テーマの抽出・問題解決の為のデザインを理解する
【学びに向かう力、人間性等】出席、提出、計画性、努力する力
科目 ヴィジュアルデザイン の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・平面構成に関する技術力を身につける ・構図、構成力を身につける。 ・色彩に対する知識を習得する。	・プレゼンする力を養う。 ・課題を読み解く力を養う。	・欠席しない。 ・提出期限を守る。 ・計画性をもつ。 ・努力する力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準					知	思	態	配当数時
1学期	平面構成① 色彩の基礎練習（透明表現） 【知識及び技能】 アクリル絵の具表現の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う	平面構成に必要な、透明表現に関すること、アクリル絵の具に関する基礎を学ぶ。彩度・明度の基礎事項を理解し、対象の形態感を捉えた表現を学ぶ。 ・教材 教科書、ケント紙、鉛筆、アクリル絵の具他	【知識・技能】 ・構図の決まりやルールを理解し、課題の意図を読み解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・鑑賞を通して作品の構図の工夫について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・課題の狙いに合わせて構図やモチーフを工夫して作品を構成することができる。					○	○	○	20
	平面構成② 平面構成の基礎練習（入試課題） 【知識及び技能】 アクリル絵の具表現の知識・技術を							○	○	○	25

1 期	【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う						
	平面構成③ 平面構成の基礎練習（入試課題） 【知識及び技能】 アクリル絵の具表現の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う		○	○	○	25	
2 学 期	平面構成④ 平面構成の応用練習（独自課題） 【知識及び技能】 アクリル絵の具表現の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う	平面構成に必要な、透明表現に関すること、アクリル絵の具に関する基礎を学ぶ。彩度・明度の基礎事項を理解し、対象の形態感を捉えた表現を学ぶ。 ・教材 教科書、ケント紙、鉛筆、アクリル絵の具他	【知識・技能】 ・構図の決まりやルールを理解し、課題の意図を読み解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・鑑賞を通して作品の構図の工夫について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・課題の狙いに合わせて構図やモチーフを工夫して作品を構成することができる。	○	○	○	25
	平面構成⑤ 平面構成の応用練習（ポスター） 【知識及び技能】 アクリル絵の具表現の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う			○	○	○	25
3 学 期	平面構成⑥ 平面構成の応用練習（入試課題） 【知識及び技能】 アクリル絵の具表現の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う	平面構成に必要な、透明表現に関すること、アクリル絵の具に関する基礎を学ぶ。彩度・明度の基礎事項を理解し、対象の形態感を捉えた表現を学ぶ。 ・教材 教科書、ケント紙、鉛筆、アクリル絵の具他	【知識・技能】 ・構図の決まりやルールを理解し、課題の意図を読み解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・鑑賞を通して作品の構図の工夫について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・課題の狙いに合わせて構図やモチーフを工夫して作品を構成することができる。	○	○	○	20
							合計
							140

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術 科目 クラフトデザイン

教科：芸術 科目：クラフトデザイン 単位数：4 単位
対象学年組：第2学年 7組～8組
教科担当者：
使用教科書：（美術2（光村図書））
教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】色彩についての理解を深める
【思考力、判断力、表現力等】テーマの抽出・問題解決の為のデザインを理解する
【学びに向かう力、人間性等】出席、提出、計画性、努力する力

科目 クラフトデザイン の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・立体表現に関する技術力を身につける ・構図、構成力を身につける。 ・色彩に対する知識を習得する。	・プレゼンする力を養う。 ・課題を読み解く力を養う。	・欠席しない。 ・提出期限を守る。 ・計画性をもつ。 ・努力する力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	時配 数当
1 学 期	A 単元 立体造形の練習（プラ板を使った表現） 【知識及び技能】 木材を使用した表現の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う	・指導事項 椅子のデザインを考える。 ・教材 教科書、ケント紙、鉛筆、他	知技：素材の特性を生かすとともに表現を工夫し創造的にあらわしている 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に構成を考え、表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	10
	A 単元 設計図作成 【知識及び技能】 三面図や木取り計画図を作成するにあたっての書き方を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 椅子のデザインを考える。 ・教材 教科書、ケント紙、鉛筆、他	知技：素材の特性を生かすとともに表現を工夫し創造的にあらわしている 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に構成を考え、表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	10
	A 単元 立体造形の練習（木材を使った表現） 【知識及び技能】 木材を使用した表現の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う	・指導事項 椅子のデザインを考える。 ・教材 教科書、ケント紙、鉛筆、他	知技：素材の特性を生かすとともに表現を工夫し創造的にあらわしている 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に構成を考え、表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	40

2 学 期	A 単元 粘土を使った表現 【知識及び技能】 粘土表現の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う	・指導事項 2つの質感を備えた粘土の立体物をデザインし、表現する。 ・教材 教科書、ケント紙、鉛筆、アクリル絵の具他	知技：粘土表現を工夫し創造的にあらわしている 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に対象物を見つめ表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	60
3 学 期	A 単元 ガラス制作 【知識及び技能】 パートドヴェールを使った表現の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ガラスの特性を知り、塑像と型取りの技法を学ぶ。 ・教材 教科書、ケント紙、鉛筆、アクリル絵の具他	知技：粘土表現を工夫し創造的にあらわしている。ガラスの技法について学ぶ。 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に対象物を見つめ表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	20
							合 計
							140

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度（ 学年用） 教科 芸術 科目 日本画

教 科： 芸術

科 目： 絵画

単位数： 6 単位

対象学年組： 第 3 学年 7 組～ 8 組

教科担当者：

使用教科書：（ ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】作品の歴史や文化を学び、画材や素材を適切に扱って制作を行う。

【思考力、判断力、表現力等】作品のテーマや課題意識をもとに、画材の特性を生かして表現活動を行う。

【学びに向かう力、人間性等】自分自身で定めた単元目標に向かって意欲的に制作し、自他の作品のよさを認め合う。

科目 日本画

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
形や色、構図や素材など作品の要素が与える効果を理解し、適切な画材の扱いで制作を行う。作品の歴史や文化について学び、それを踏まえて制作に取り組む。	作品のテーマや課題意識をもとに、形や色、画材の性質を生かして効果的に表現することができる。実用性や装飾性といった、制作目的に沿った作品の特徴を表現する。	制作や鑑賞を通して自身の作品の課題を見つけ、意欲的に制作に取り組む。鑑賞を通して自他の作品のよさを認め合う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	「植物の小作品制作」 【知識及び技能】 構図の決め方やルールについての知識を深める。 植物をよく観察し、その特徴を見つけることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフやテーマと構図の関係性を考える。 植物を観察して捉えた特徴を、線や色、絵の具の特徴を生かして表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題に対して真摯に取り組み、互いの作品のよさを認め合う。	・植物のスケッチ ・スケッチを元に、作品の雰囲気やテーマを考え、アイデアスケッチを行う ・和紙の扱いや日本画材の基本的な扱い方を学ぶ ・講評会では互いの作品を鑑賞しあう	【知識・技能】 ・構図の決め方やルールを理解し、作品を読み解くことができる。 ・様々な角度から植物を観察し、その特徴をつかむことができる。 【思考・判断・表現】 ・選んだ植物と作品のテーマをもとに、使用する画材やマチュール、表現方法を工夫して作品制作することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に集中して制作し、意図に合った表現を実現するために試行錯誤して制作することができる。	○	○	○	60
	「素材研究」 【知識及び技能】 画材の特性を理解し、効果的な使用方法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 効果的に表現するための色を使い表現する。 【学びに向かう力、人間性等】	・日本画画材の使い方 ・イメージとマチュールの関係 ・講評会	【知識・技能】 ・日本画画材の特性を理解し、適切な方法で扱うことができる。 【思考・判断・表現】 ・日本画画材の特性を生かし、作品のテーマをマチュールで効果的に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品を計画的に制作し、互いの作品を鑑賞しあう。	○	○	○	50
2 学 期	「卒制に向けた計画」 【知識及び技能】 これまでの制作を元にアイデアを考え、構図を工夫して制作することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自身の制作テーマを元に、それを表現するための効果的な形や色、日本	・卒業制作の計画 ・使用画材の決定 ・作品サイズの決定	【知識・技能】 ・日本画画材の特性を理解し、作品の構図や使用予定画材を計画することができる。 【思考・判断・表現】 ・自身の制作テーマを元に、乾燥時間や組み立て時間を見越して計画を立てることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・制作の予定を計画立て、卒制に向けた制作過	○	○	○	70
	「卒業制作」 【知識及び技能】 アイデアスケッチしたことをもとに、大作ということを踏まえて構図や構成を工夫して制作することができる。 日本画材の適切な使い方を理解し、使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】	・日本画材の特性を生かした表現 ・形や色といった描写方法と使用画材によるテーマの表現方法	「卒業制作」 【知識及び技能】 アイデアスケッチしたことを生かして、大作ということを踏まえて構図や構成を工夫して制作することができる。 和紙などの基底材や筆の種類による描写の使い分け、岩絵の具の種類やマチュールの特性を踏まえ、日本画材の適切な使い方を理解し、使用することができる。	○	○	○	30
							合 計
							210

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度（ 3学年用）教科 芸術 科目 洋画

教 科： 芸術

科 目： 絵画

単位数： 6 単位

対象学年組： 第 3 学年 7 組～ 8 組

教科担当者：（ ）
使用教科書：（ ）
教科 芸術 の目標：
【知識及び技能】洋画に関する専門的な知識、技能を習得し、独創的、創造的に表すことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】洋画に関する専門的な知識、理解を働かせ、創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】他者からのアドバイスを活かして主体的、意欲的に洋画を制作し、自他の作品のよさを認め合う。

科目	洋画	の目標：		
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
	形や色、構図や素材など作品の要素が与える効果を理解し、適切な画材の扱いで制作を行う。作品の歴史や文化について学び、それを踏まえて制作に取り組む。	作品のテーマや課題意識をもとに、形や色、画材の性質を生かして効果的に表現することができる。	制作や鑑賞を通して自身の作品の課題を見つけ、意欲的に制作に取り組む。 鑑賞を通して自他の作品のよさを認め合う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	「静物画（油彩）」 【知識及び技能】 ・油彩画材の特性や使い方を理解して、各自の主題に合った適切な選択、調整をする。 ・主題に合った構図を決める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・組モチーフの観察を基に、各自主題を設定し、モチーフや油絵具の特徴を活かして油彩表現を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者からのアドバイスを活かして課題に主体的に取り組む。毎時間取り組みを振り返り、次の制作に活かす。	・構図の検討 ・油彩画材の特性、使い方 ・各自の主題に合った油彩表現の方法 ・背景の処理方法 ・制作記録の保存と活用 ・講評会	【知識・技能】 ・油彩画材の特性や使い方を理解して、各自の主題に合った適切な選択、調整ができる。 主題に合った構図を決めることができる。 【思考・判断・表現】 ・組モチーフの観察を基に各自主題を設定し、モチーフの表現方法、筆致、色調や背景の処理、全体の描きこみのバランスを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に集中して制作し、意図に合った表現を実現するために試行錯誤して制作することができる。 ・自分の制作に必要な助言を仰ぎ制作に活かすことができる。	○	○	○	60
	「表現研究」 【知識及び技能】 ・さまざまな表現の収集および実験を行い、知識・技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・さまざまな表現の収集および実験を行い、表現を研究する。 【学びに向かう力、人間性等】	・洋画制作に使える画材の紹介 ・様々な下地の紹介 ・イメージとマチエールの関係 ・制作記録の保存と活用 ・講評会	【知識・技能】 ・さまざまな表現の収集および実験を行い、知識・技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・さまざまな表現の収集および実験を行い、表現を研究することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・さまざまな表現の収集および実験を行い、卒業制作に活かすことができる。	○	○	○	10
	「卒業エスキース」 【知識及び技能】	・主題探し ・卒業制作の全体計画	【知識・技能】 ・洋画画材の特性を理解し、作品の構図や使用	○	○	○	20
2 学 期	「卒業制作」 【知識・技能】 ・洋画画材の特性を理解して計画的に制作を進める。 【思考・判断・表現】 ・主題を表現するための効果的な構図、形や色、材料を選択して制作する。	・エスキースのブラッシュアップ ・大型作品の搬入、展示方法 ・画溶液の選択 ・額装 ・制作記録の保存と活用	【知識・技能】 ・洋画画材の特性を理解して計画的に制作を進めることができる。 【思考・判断・表現】 ・主題を表現するための効果的な構図、形や色、材料を選択して制作することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	90
	「卒業制作」 【知識・技能】 ・洋画画材の特性を理解して計画的に制作を進める。 【思考・判断・表現】 ・主題を表現するための効果的な構図、形や色、材料を選択して制作する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・他者からのアドバイスを活かして課題に主体的に取り組む。毎時間取り組みを振り返り、次の制作に活かす。	・エスキースのブラッシュアップ ・大型作品の搬入、展示方法 ・画溶液の選択 ・額装 ・制作記録の保存と活用	【知識・技能】 ・洋画画材の特性を理解して計画的に制作を進めることができる。 【思考・判断・表現】 ・主題を表現するための効果的な構図、形や色、材料を選択して制作することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に集中して制作し、意図に合った表現を実現するために試行錯誤して制作することができる。 ・自分の制作に必要な助言を仰ぎ制作に活かすことができる。 ・授業記録シートに毎時間振り返りを記入し次の制作に活かすことができる。	○	○	○	30
合計							210

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度（ 学年用） 教科 芸術 科目 彫刻

教科：芸術 科目：彫刻 単位数： 6 単位

対象学年組：第 3 学年 7 組～ 8 組

教科担当者：（ ）
使用教科書：（ ）
教科 芸術 の目標：
【知識及び技能】様々な素材の理解を深め、造形力をつける
【思考力、判断力、表現力等】作品のテーマや課題意識をもとに、素材の特性を生かして表現活動を行う
【学びに向かう力、人間性等】出席、提出、計画性、自他の作品のよさを認め合う

科目	彫刻	の目標：		
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
	・粘土、石膏、木材など、素材それぞれが生み出す表情の違いや特徴を理解する。 ・空間を意識した作品を制作をする。	・面のつながりや量感への意識を養う。 ・様々な素材に適した道具を扱う力を養う。 ・課題を読み解く力を養う。	・欠席しない。 ・提出期限を守る。 ・計画性をもつ。 ・努力する力を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A	彫塑「友人の首像」 【知識及び技能】 ・人体の持つ有機的な形態美を観察し、理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・モデルから受けるイメージを観察し、捉えたものを表現する力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 ・課題に対して真摯に取り組み、計画性をもって取り組む力を養う	・人体構造への理解 ・人物のスケッチを行い、内面性も見つめる力を養う ・粘土での表現や、道具の基本的な扱い方を学ぶ ・鑑賞する力 ・教材…彫塑用粘土、しゅる縄、角材、粘土べら、回転台等	【知識・技能】 ・様々な角度から人物を観察し、その特徴をつかむことができる 【思考・判断・表現】 ・マチエールなど質感表現を工夫して制作することができる ・自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に集中して制作し、意図に合った表現を実現するために試行錯誤して制作することができる。	○	○	○	60

1 学 期	B 石膏取り 【知識及び技能】 ・石膏の扱い方についての知識・技能を養う 【思考力、判断力、表現力等】 ・状況に応じた判断力や行動力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 ・計画性をもって取り組む力を養う	・A 彫塑「友人の首像」を石膏取りする ・扱う素材の知識の確認 ・扱う素材の基本的な技術の習得 ・教材…石膏、切金、石膏用ボウル、石膏べら、サイザル、離型剤、L字金具 等	【知識・技能】 ・素材の特性などを理解することができる 【思考・判断・表現】 ・素材の特性を理解した手順を踏むことができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・計画的に作業を進めることができる ・積極的に集中して取り組むことができる				20
	C 卒業制作研究 【知識及び技能】 ・これまでの制作を基にアイデアを考え、素材の特性を活かした表現の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えを伝える力を養う ・自身の制作テーマを基に、それを	・卒業制作の計画 ・使用素材の決定 ・作品サイズの決定 ・エスキース制作 ・自己表現について考え、他者に伝わる形にする ・素材の特性を活かした表現方法を学ぶ	【知識・技能】 ・使用する素材を決め、計画することができる ・素材の特性を活かすとともに、表現を工夫し創造的に表すことができる 【思考・判断・表現】 ・それぞれの素材の特性を活かし、作品のテーマを表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	20
	D 「卒業制作」 【知識及び技能】 ・エスキースを基に制作する ・各素材の特性を理解し、適切な道具の扱い方ができる 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えを伝える力を養う 作品の制作意図を整理し、卒業制作	・各素材の特性を活かした表現活動をおこなう ・自己表現について考え、他者に伝わる形にする ・必要となる技術、材料、方法を提示し、生徒の選択肢を充実させる ・教材…各々の計画に即す	「卒業制作」 【知識及び技能】 ・高校生活の集大成となる作品を制作することができる ・エスキースを基に制作を進めることができる ・各素材の特性を活かすとともに、表現を工夫し創造的に表すことができる ・各素材に適した道具の使い方を理解し、使用	○	○	○	70
3 学 期	D 「卒業制作」の振り返り 【知識及び技能】 ・制作についての素材研究や技術など 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えを伝える力を養う 作品の制作意図を整理し、卒業制作の作品テーマを考えることができる ・自身の作品テーマや伝えたいこと	・自己表現について考え、他者に伝わる形にする ・必要となる技術、材料、方法を提示し、生徒の選択肢を充実させる ・教材…各々の計画に即す	「卒業制作」 【知識及び技能】 ・高校生活の集大成となる作品の制作意図などを説明することができる ・各素材に適した道具の使い方を理解し、説明することができる				40
							合計
							210

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 芸術 科目 ヴィジュアルデザイン

教科：芸術

科目：ヴィジュアルデザイン

単位数：6 単位

対象学年組：第3学年 7組～8組

教科担当者：

使用教科書：（

）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】画像編集ソフトの操作を覚え、グラフィック作品制作に必要な知識と技能を身に着ける

【思考力、判断力、表現力等】見る人を惹きつけるグラフィック作品とは何かを考え、表現する

【学びに向かう力、人間性等】自分自身で定めた単元目標に向かって意欲的に制作し、自他の作品のよさを認め合う。

科目 ヴィジュアルデザイン

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・グラフィックに関する技術力を身につける ・画像編集ソフトの操作技術を身につける。 ・社会とのコミュニケーションに役立つ作品を制作する、	・プレゼンする力を養う。 ・課題を読み解く力を養う。	・欠席しない。 ・提出期限を守る。 ・計画性をもつ。 ・努力する力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	広告制作 【知識及び技能】 画像編集ソフトの知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う	画像編集に必要な、ソフトに関すること、グラフィックに関する基礎を学ぶ。訴求力があり視認性の高い広告制作に取り組みさせることで、卒業制作に必要な技術を身に着けさせる。 ・教材 教科書、描画材料、パソコン他	【知識・技能】 ・構図の決まりやルールを理解し、課題の意図を読み解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・鑑賞を通して作品の構図の工夫について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・課題の狙いに合わせて構図やモチーフを工夫して作品を構成することができる。	○	○	○	55
	卒業制作研究 【知識及び技能】 卒業制作に取り入れたい技術・知識・材料研究を行う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う	定期的に個人面談を行い、計画表を基に卒業制作の計画を練るサポートを行う。必要に応じて材料や画材、表現方法を提示する。また共通して使用する材料の扱い方は一斉指導に方法を示す。 ・教材 各々の計画に即す	【知識・技能】 ・各々の制作に必要な知識・技能を身に着けることができる。 【思考・判断・表現】 ・鑑賞を通して作品のコンセプトについて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・計画的に制作準備を進め、あらゆる可能性を想定し、余裕を持って取り組むことができる。	○	○	○	45
	卒業制作 【知識及び技能】 1学期に立てた計画に沿って、効率	必要となる技術、材料、方法を提示し、生徒の選択肢を充実させる。定期的に面談、講評会を行い、客観的	【知識・技能】 ・各々の制作に必要な知識・技能を身に着けることができる。				

2 学 期	的に作業を進める 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う	に作品制作を進められるよう環境を整える。 ・教材 各々の計画に即す	【思考・判断・表現】 ・鑑賞を通して作品のコンセプトについて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・計画的に制作準備を進め、あらゆる可能性を想定し、余裕を持って取り組むことができる。	○	○	○	65
3 学 期	卒業制作を振り返って 【知識及び技能】 写真撮影や作品集編集を通して、グラフィック技術を実践的に身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 大多数が欲しいと思える作品集づくりを目指し、魅力的なレイアウトや想定を考える 【学びに向かう力、人間性等】 仲間と意見を交わし、よりよい作品集が出来るようコミュニケーション力を養う	作品集制作のための撮影手配や、印刷業者とのやり取りをサポートし、グラフィックの仕事を生徒に体験させる。	【知識・技能】 ・各々の制作に必要となる知識・技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 ・鑑賞を通して作品のコンセプトについて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・計画的に制作準備を進め、あらゆる可能性を想定し、余裕を持って取り組むことができる。	○	○	○	45
合計							210

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 芸術 科目 クラフトデザイン

教 科：芸術

科 目：クラフトデザイン

単位数： 6 単位

対象学年組：第 3 学年 7 組～ 8 組

教科担当者：

使用教科書：（

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】素材の理解を深め、造形力をつける。

【思考力、判断力、表現力等】テーマの抽出・問題解決の為のデザインを理解する

【学びに向かう力、人間性等】出席、提出、計画性、努力する力

科目 クラフトデザイン

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・立体表現に関する技術力を身につける。 ・構図、構成力を身につける。	・素材研究を深める。 ・プレゼンする力を養う。 ・課題を読み解く力を養う。	・欠席しない。 ・提出期限を守る。 ・計画性をもつ。 ・努力する力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 立体造形の発表・講評（3学期に作成した自由制作のプレゼン・講評会） 【知識及び技能】 素材の特性を活かした表現の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 コンセプトにもとづく自己表現について考える。 ・プレゼンテーションの仕方 ・鑑賞する力 ・教材 鉛筆、他	知技：素材の特性を生かすとともに表現を工夫し創造的にあらわしている 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に構成を考え、表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	12
	A 単元 立体造形の練習（卒業制作に向けた材料研究） 【知識及び技能】 素材の特性を活かした表現の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う	・指導事項 自己表現について考え、人に伝わる形にする。 伝統技法やその素材特有の技法について調査し、研究する。 各素材の特性を活かした表現をおこなう。 ・教材	知技：素材の特性を生かすとともに表現を工夫し創造的にあらわしている 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に構成を考え、表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	78
2 学 期	A 単元 卒業制作 【知識及び技能】 クラフト分野の卒業制作として自由に立体表現を行う。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 自己表現について考え、人に伝わる形にする。 伝統技法やその素材特有の技法について調査し、研究する。 各素材の特性を活かした表現をおこなう。 ・教材	知技：素材の特性を生かすとともに表現を工夫し創造的にあらわしている 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に構成を考え、表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	90

3 学 期	A 単元 卒業制作の振り返り 【知識及び技能】 クラフト分野の卒業制作として自由に立体表現を行う。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 自己表現について考え、人に伝わる形にする。 伝統技法やその素材特有の技法について調査し、研究する。 各素材の特性を活かした表現をおこなう。 ・教材	知技：素材の特性を生かすとともに表現を工夫し創造的にあらわしている 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に構成を考え、表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	30
							合計 210